

副専攻名 地域研究・米英

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

副専攻「米英コース」では、米英を中心とした英語圏諸国に関する歴史的、社会的、文化的背景について学ぶ諸科目を提供する。英語をさらに実用的なツールとして活用するために不可欠なコンテキストとしての英語圏文化・社会について、広範かつ深い知識を育成するとともに、英語を駆使して活躍する国際人たるに必要な総合的知識基盤と能力の構築を狙う。少人数によるゼミナール形式の授業によって、学生の自発的な学習能力を引き出すことも狙っている。

副専攻の学習成果

- ・米英を中心とした、英語圏諸国に関する歴史的、文化的背景への基本的な理解が深まる。
- ・主として、米英社会が国際社会で果たしてきた役割、および米英社会の現状についての認識を深めることができる。
- ・受け身一方の学習姿勢ではなく、みずから問題を設定し、みずから考え、みずから意見を発表する、能動的な学習姿勢が身につく。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
51301	アメリカ研究A	アメリカの歴史、社会、文化に関する主要なテーマに関する理解が得られる。	2～3	2	
51302	アメリカ研究B	アメリカ文化の潜在的な構造に着目し、具体的な根拠をもって独自の解釈を提示する能力を養う。	2～3		2
51303	イギリス研究	国際政治、イギリスの現在の姿を知る視野を身につけることができる。それにより、現在の世界を取り巻く問題の一側面を理解することができる。イギリスの歩み自身を理解することで、外交の歴史を今日の問題と絡めつつ再照射し、様々なアクターと関与したイギリスを多角的に理解することで、後の研究を行う視座を身につける。	2～3	2	
51304	アメリカ文化関係論	アメリカの文化を構成する経系に関する理解が深まるとともに、その多様性について認識できる。	2～3		2
51305	アメリカ地域文化論	通史を扱う講義を通じ、アメリカ文学・文化についての基礎的な知識を習得することができる。	2～3		2
51306	イギリス文化関係論	イギリス人のものの考え方の基盤をなす、哲学的、思想的、美学的側面に関する理解が深まる。	2～3	2	
51307	イギリス地域文化論	19世紀から現代にかけてのイギリス文学史を理解することで、英語圏文化の理解に必要な知識を身につける。	2～3		2
51308	米英言語思想論	英語論文の精読を通して、現象について深く観察し、理解を深めることで、言語に対する深い洞察力・分析力を身につけると共に、自身の英語力向上に生かせるようにする。	2～3	2	
51309	米英メディア文化論	アメリカ文化表象の深層にある集団的思考の方向性を具体的に考察し、論理的に提示する能力を養う。	3～4	2	
51310	米英環境思想論	環境思想の主要な特徴と変遷を理解し、重要なコンセプトを用いて環境をめぐる問題をクリティカルに考えることができるようになる。	3～4		2
51311	米英芸術文化論	・米英の芸術文化への理解を深め、文化表象を読み解く方法を習得する。	3～4		2
51312	アメリカ政治・外交論	・英語のリーディングやリスニングを上達させる。 ・政治学及び国際関係の専門用語を紹介する ・国際的な観点から、アメリカの政治・外交史を理解する。	3～4	2	
51313	アメリカ経済論	アメリカ経済の構造や世界的役割を把握する	3～4		2
51314	北米文化論	英語圏文学・文化の歴史的成立過程をジェンダー・階級・人種の観点から考察し、現代に通ずる課題を読み解いていく。	3～4	2	

副専攻名 地域研究・米英**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

副専攻「米英コース」では、米英を中心とした英語圏諸国に関する歴史的、社会的、文化的背景について学ぶ諸科目を提供する。英語をさらに実用的なツールとして活用するために不可欠なコンテキストとしての英語圏文化・社会について、広範かつ深い知識を育成するとともに、英語を駆使して活躍する国際人たるに必要な総合的知識基盤と能力の構築を狙う。少人数によるゼミナール形式の授業によって、学生の自発的な学習能力を引き出すことも狙っている。

副専攻の学習成果

- ・米英を中心とした、英語圏諸国に関する歴史的、文化的背景への基本的な理解が深まる。
- ・主として、米英社会が国際社会で果たしてきた役割、および米英社会の現状についての認識を深めることができる。
- ・受け身一方の学習姿勢ではなく、みずから問題を設定し、みずから考え、みずから意見を発表する、能動的な学習姿勢が身につく。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
51315	英語圏文化論	(a) 英語圏出身の人と効果的にコミュニケーションをはかるために必要な思考と行動様式に関わる広範囲の能力を習得すること; (b) 職場で異文化間コミュニケーションを効果的に行うための必要最低限の英語力を習得すること。	3~4	2	
51316	イギリス政治・外交論	戦後国際政治史を詳細に検討する視野を身につける。イギリス政治・外交論の授業を通して、イギリス外交を研究する意義を理解することができる。それにより、日本とイギリスの比較、日米関係と英米関係の比較、日本／アジアとイギリス／ヨーロッパの比較の視点を養うことを可能にする。	3~4		2
51317	米英研究特論A	米英の文化的諸特徴に関して、通史的に理解できる。	2~4	2	
51318	米英研究特論B	米英の文化的諸特徴に関して、通史的に理解できる。	2~4	2	